

PostgreSQL

---

# APPENDIX

PostgreSQL

## 参考文献

本文中で引用した番号：『書名』／著者名（もしくは編集者名）／出版社および発行年  
 となっています。海外の書籍で、日本語による翻訳書が出版されているものは（ ）内  
 に書名と出版社を示してあります。→ 以下は筆者によるコメントです。

➡ 「ミスターデータベース」の異名をとり、またPostgreSQLのご先祖であるPostgresの産みの親のMicahel Stonebraker によるObject-Relational Database Management System (ORDBMS) の解説。文中にはPostgreSQLの兄弟とも言えるIllustraに即した説明がたくさん出てきます。PostgreSQLについても当てはまることがあるので、参考になります。

⇒ 主にSQL89 について解説．書かれた時期からは当然ですが，SQL92 についてはあまり書かれていません．「注釈つきSQL 批判」が興味深い．

➡ 上記の改定版、SQL92 について詳説、SQL3 についても述べられています。

➡ **たぶん** Wisconsin Benchmark について解説した文献で，唯一，容易に入手できる

もの。TPC-A/B/Cについても解説しています。

5. 『SQL for Smarters: Advanced SQL Programming』 / J.Celko / Morgan Kaufmann Publishers, Inc., 1995 (訳書: 『プログラマのためのSQL』 / トッパン)

⇒ 実践から産まれたSQLの高度なテクニックを解説。類書が少ないので、大変参考になります。

6. 『Transaction Porcessing: Concepts and Techniques (3rd printing)』 Jim Gray, Andreas Reuter / Morgan Kaufmann Publishers, Inc., 1997

⇒ トランザクション, 同期, ロックTP monitor などについて詳しく述べています。理論だけでなく実装にも触れています。1,000ページ以上の大作。

7. 『Understanding the New SQL: A Complete Guide』 / J. Melton, A.R. Simon / Morgan Kaufmann Publishers, Inc., 1993 (訳書: 『SQL92 完全ガイド』 / トッパン, 1998)

⇒ 『Transaction Porcessing』の著者Jim Gray編集の「データ管理システムシリーズ」の1冊。SQL92の規格について解説しています。SQL92の国際化の解説(第18章)は非常に充実した内容で目を引きます。必読の1冊と言い切ってよいと思います。

8. 『Linux/FreeBSDによるSQLデータベース構築入門/PostgreSQL + PHP/FI編』 / トップマネージメントサービス / Locus, 1998

⇒ 日本で初のPostgreSQLの解説本。

9. 『FreeBSD/Linuxで使うPostgreSQL詳解』 / 糸魚川茂夫 / オーム社, 1998

⇒ 地理データ型やユーザ定義データ型など, PostgreSQL独自の機能を中心に解説。

10. 『日本語全文検索システムの構築と活用』 / 馬場 肇 / ソフトバンク, 1998

⇒ 第4章で取り上げた全文検索システムの概念から実装までを網羅的に解説。

11. 『Java プログラミング JDBC』 / 日本サン・マイクロシステムズ / サイエンス社, 1997

⇒ JavaのデータベースアクセスAPIであるJDBCの解説。

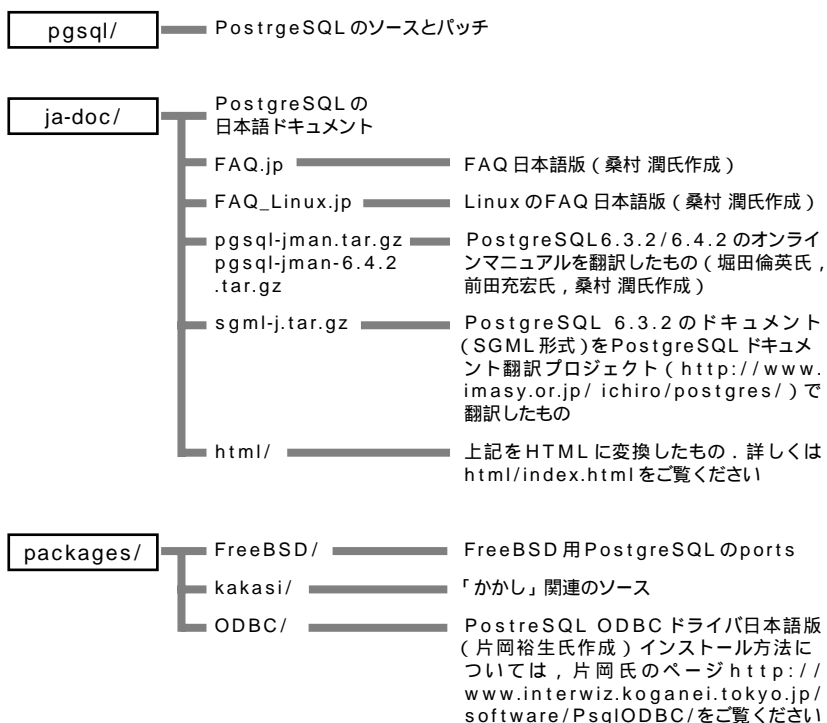
## 2

## 付属CD-ROMについて

本書付属のCD-ROMは2枚組となっております。

### Disc 1 : PostgreSQL CD-ROM

PostgreSQLのソースや本書に使われた例題プログラム、関連パッケージなどが収録されており、以下のようなディレクトリ構造になっています。



## 2 付属CD-ROMについて

archives

Tcl/Tk, Apache, PHP のソース。Apache については、本文執筆後 1.3.3 がリリースされたため、それも収録しています

examples/

本書で使われた例題プログラムのソース

Java/

PostgreSQL JDBC ドライバ (postgresql.jar) とマルチバイト対応パッチ (持田修司氏作成)

Plamo-src/

Linux のディストリビューション Plamo Linux のソース。  
[ftp://ftp.linnet.gr.jp/pub/Plamo/Plamo-src](http://ftp.linnet.gr.jp/pub/Plamo/Plamo-src) から入手できます

netscape/

Netscape Communicator 4.5 です。LinuxPPC 版, x86/Linux 版, FreeBSD 版, x86/Solaris 2.5.1 版を収録しました

### Disc 2 : Plamo Linux 1.3.1

Plamo Linux は Slackware をベースに、こじまみつひろ氏らが作成された Linux ディストリビューションです。インストーラから日本語化されており、インストールしてすぐに日本語環境が使えます。Plamo Linux 1.3.1 では、PostgreSQL 6.3.2 (日本語対応版) がサポートされており、気軽に PostgreSQL を使い始めることができます。

Plamo Linux のインストールについては付属ドキュメントのほか、

<http://www.gihyo.co.jp/SD/plamo/before.html>

をご覧ください。

#### ライセンスについて

本書付属CD-ROMのライセンスについては、それぞれのソフトウェアに添付されたライセンスの説明に従ってください。

examples の下のプログラムは、本文中あるいは付属ドキュメントでとくに断りのない限り筆者が作成したものです。筆者が作成したものについては著作権は放棄しませんが、ソフトウェア自体の代価を要求しない場合に限り、インターネットを通じて自由に配布したり、改造して利用することができます。

なお、当CD-ROMに収録されたプログラムを実行した結果、万一、直接的および間接的損害が生じても、技術評論社およびそれぞれのプログラムの作者はいっさい責任を負いません。あらかじめご了承ください。あくまで自己責任の下でのご使用をお願いします。

# あとがき

「PostgreSQLのすべてを語り尽くしたい」という大それた気持で書き始めた本書ですが、書けば書くほど底が知れないのがPostgreSQLだという感じが今はしています。果たして本書がどの程度PostgreSQLの魅力を伝えることができたのか、あるいは有用な情報を提供できたのかということについては、はなはだ不安の残るところですが、本書がPostgreSQLを活用するきっかけとなればこれに勝る喜びはありません。

## 謝 辞

まず、素晴らしいデータベースソフトウェアであるPostgreSQLの開発作業を無償で行っている世界中のPostgreSQL開発チームの皆様に感謝します。

一方、日本でのPostgreSQLの普及は、PostgreSQL日本語メーリングリストの会員の方々の力によるものです。また、筆者はこのメーリングリストでの議論を通じて多くのことを学びました。そこでの経験なしに、本書を書き上げることは決してできなかったでしょう。この場を借りてメーリングリストの会員の皆様にお礼申し上げます。

また、本書付属のCD-ROMに収録されたソフトウェアとドキュメントは、多くの方々の努力の結果によるものです。これらを提供してくださった方々にも感謝します。

筆者のわがままから、CD-ROMが1枚増えたり、ページ数が大幅超過してしまったりと、担当の方にはご迷惑をおかけしましたが、最後まで辛抱強くつき合ってくださいました技術評論社の五味明子氏に感謝します。

最後に、執筆のため休日を犠牲にしてかえりみない筆者を、ハーブティーで支えてくれた妻・千賀子に感謝します。

1998年12月

石井 達夫

### サポートページについて

本書を執筆するにあたり、記載に誤りのないように努力しましたが、本書を刊行後に発見されたバグ、変更のあった点などについては、サポート用のWebページにてお知らせします。

URL・<http://www2b.biglobe.ne.jp/caco/>